



JCHO (ジェイコー) タイムズ



独立行政法人
地域医療機能推進機構
仙台南病院
附属介護老人保健施設
広報紙
2026年1・2月号
(第104号)



～新年のご挨拶～



新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年は60年に一度の丙午(ひのえうま)の年です。いくつかネガティブな迷信もありますが、丙午は十干の「丙」と十二支の「午」を組み合わせた干支の一つであり、ともに陽の火の性質を持つとされ、火の力が重なることで情熱や勢いが高まり、太陽のようにエネルギーが満ち溢れる年とされています。

高齢化は待ったなしで進み、様々な疾病を抱えて住み慣れたご自宅での生活が困難になるケースが増える中、私たちは地域の介護老人保健施設として看護・介護サービス、リハビリテーションを通じて、身体機能の向上と精神の安定のため、引き続きサービスを提供させて頂きたいと考えております。

本年も地域に根ざした、より良いサービスを提供できるよう、職員一同、より一層の熱い情熱を持って頑張っ
てまいりますので、ご支援ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

副施設長 吉田 茂生

施設の生活の様子をご紹介します！

入所フロア

デイケア



デイケアでは、新年の飾りを利用者様と制作し、飾り付けを行いました。鳥居も設置され、新年の雰囲気存分に味わえる空間ができあがりしました。今年も一年、健康で過ごせますように。



フロア内では、節分イベントとして豆まきを開催しました。今年は、ちょっと可愛らしい赤鬼がやってきて、利用者の皆様から豆に見立てた新聞紙ボールを当てられていました。「鬼は外！福は内！！」と、楽しそうな掛け声が響き渡りました。

衣類の記名についてのお願い

季節の変わり目となり、衣類をお持ちいただく機会が増えて参りました。今一度、衣類への記名をお願いいたします。特に、クリーニングの申し込みをされていらっしゃる方は、記名が無いと戻ってこなくなる可能性がございますので、ご注意ください。また、黒い靴下へは、貼り付けできるゼッケン様の物を付けるなど工夫し、記名くださいますよう宜しくお願いいたします。

日用品をご持参いただいている方へは、日用品への記名も併せてお願いいたします。

～編集担当より～

1月も過ぎ、早くも2月となりました。最強寒波で、外に出ると身体がブルブル震えるほど寒い日が続いていますが、皆様の体調はいかがでしょう。現在、インフルエンザが流行しており、体調を万全にして寒い時期を乗り越えていきたいものです。

2月は季節の変わり目の「節分」がありました。季節の分け目には悪い物がやってくるとされ、その悪い物の象徴が「鬼」なのだそうです。鬼を煎った豆でやっつけ、「みんなが健康で幸せに過ごせますように」と願い、当施設でも行いました。